

航空自衛隊仕様書		
仕様書の種類	内容による分類	役務仕様書
	性質による分類	個別仕様書
物品番号	1710-427-2756-5	仕様書番号
品名 又は 件名	着陸拘束装置 ピット構成品（電装系） 修理（診断後） （現地）	4補LPS-G170020
		作成 令和 7年 5月 27日
		改正 令和 年 月 日
		作成部隊等名 第 4 補給処

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊春日基地に設置している着陸拘束装置のピット構成品（電装系）の修理（診断後）（現地）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、引用文書による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、次の文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、法令等を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 仕様書

4補LPS-00001 外注整備共通仕様書

4補LPS-00003 現地外注整備共通仕様書

公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部

b) 技術指令書

J. T. O. 35E8-2-1-4 部品目録 着陸拘束装置 BAK-12J型 P II J型 BAK-12/-14型
BAK-12/-15型 PIV型 UBAK-12型 SUBAK-12型

J. T. O. 35E8-2-5-101 操作及び整備指令 着陸拘束装置BAK-12J型

c) その他

診断報告書

2 要求事項

2.1 一般

一般的事項は、4補LPS-00003の2.1 による。

2.2 整備作業の種類

整備作業の種類は、4補LPS-00001の2.2.1 g)による。

品名	着陸拘束装置 ピット構成品（電装系）修理（診断後）（現地）
----	-------------------------------

2.3 整備作業の実施要領

2.3.1 受入点検

受入点検は、4補LPS-00003の2.3.1による。

2.3.2 修理作業等

修理作業等は、次による。

- a) 4補LPS-00003の2.3.3による。
- b) 調達要領指定書に示す**診断報告書**に基づき、J. T. O. 35E8-2-1-4及びJ. T. O. 35E8-2-5-101の第VII節に従い実施する。
- c) 各構成品間を接続する配管及び配線は、全数交換する。
- d) “LIGHT (FLUORESCENT-60Hz)”（部品番号TFL 4116V）の交換を要する場合は、“LIGHT (LED)”（部品番号ETLL1321U-149A/16）及び“COVER”（部品番号ETL141G）を組合わせて使用する。

2.3.3 調整・試験

調整・試験は、次による。

- a) 4補LPS-00003の2.3.4による。
- b) 各構成品間の導通試験及び絶縁抵抗測定を実施する。
- c) J. T. O. 35E8-2-5-101の第VII節に従い実施する。

2.3.4 整備作業等の記録

整備作業等の記録は、4補LPS-00003の2.3.5による。

2.4 作業の変更等

作業の変更等は、4補LPS-00003の2.5による。

2.5 整備員の資格等・改善

整備員の資格等・改善は、4補LPS-00003の2.6.1及び2.6.2による。

2.6 整備員の役務実施場所等

役務実施場所は、春日基地（西部航空警戒管制団）のA滑走路北側に設置している着陸拘束装置の東側ピットとする。また、役務実施可能時間は、役務実施日の22時30分から翌日5時30分までとし、細部は、監督官と調整する。

3 整備用部品・材料

整備用部品・材料は、4補LPS-00003の3及び**公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）**第2編第1章第1節による。また、契約の相手方が準備する。

4 監督・検査

監督・検査は、4補LPS-00003の4による。

5 不具合発生時の処置

不具合発生時の処置は、4補LPS-00003の5による。

6 その他の指示

品 名	着陸拘束装置 ピット構成品（電装系）修理（診断後）（現地）
-----	-------------------------------

6.1 提出書類

提出書類は、4補LPS-00003の6 による。ただし、d)及びe)を除く。

なお、修理明細表を提出する。

6.2 現地における便宜供与

現地における便宜供与は、4補LPS-00003の7.2 による。ただし、b)及びg)を除く。

6.3 技術指令書の貸付等

技術指令書の貸付等は、J. T. O. 35E8-2-1-4及びJ. T. O. 35E8-2-5-101とする。また、手続は、4補LPS-00001の9.2 による。

6.4 安全管理

安全管理は、4補LPS-00001の11による。

6.5 仕様書の疑義

仕様書の疑義は、4補LPS-00003の10による。